



～ 志をもち 郷土を誇りに思い 郷土の誇りとなる ～
「自己有用感(人、社会の役に立つ)」「自己肯定感(やればできる)」の高揚

第75回社会を明るくする運動弁論大会(7/12)…優秀賞

7校の中学生が出場し、本校からは3年生が出場しました。審査員の方々から、高い評価を受け「優秀賞」を受賞しました。

「AIと私たちの未来」と題した弁論は、AI依存への警鐘と、AIをパートナーとして活用していく未来を語っていました。『AIと人間は上手くやطيعいけるか。』とチャットGPTに問いかけ『上手くやطيعいけるかどうかは、人間次第だと思います。』という回答。『私たちの未来は、私たちがつくっていくのです。』という力強いメッセージを最後に発信し、大きな拍手をいただきました。次頁に、原稿を掲載します。ぜひ、ご一読を。

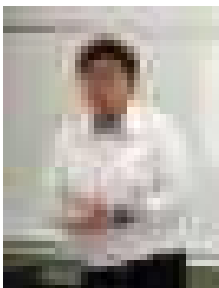
職員講話(7/2)

本年度、子どもたちが志を少しでも持つことができるよう、講話活動を展開していきます。今回は、本校の職員(以下「先生」)が講話をしました。

事前に「なりたい職業」「就きたい職種」「夢とは?」「三井楽と聞いて思い浮かぶもの(こと)」などの質問をとり、その回答を基に丁寧で優しく、時には笑いも含めて話していました。子どもたちも真剣に話を聞き、自分の将来の生き方を考えるきっかけの一つになったと感じています。

話の中で、私が最も印象に残ったのは先生の名前に関するお話でした。「〇佑」が、先生の名です。その中の「佑」には、ご両親の次のような思いが込められているとおっしゃっていました。佑という文字は「イ」「右」でつくられています。「人から愛され、周囲を助け、支えることができるような人に育ってほしいという願い」が込められているようです。先生を見ていると、正しくそのような人物であると感じます。

皆様がお子様につけた名前の思いは、子どもたちに伝わっているのでしょうか?大人へと成長したとき、名前に込められた思いに答えきれ人となつてほしいです。



第1学期終業式(7/18)

いよいよ夏休みを迎えます。終業式では、常にいっている「事故に遭わないように。命を守るように。健康であるように。」を中心に話をしました。2学期の始業式で皆と笑顔で会いたい。その思いが一番です。「夏休みの生活心得」に様々な約束事を示し、学級で説明しています。水難事故、交通事故、生活リズムの乱れによる体調不良、熱中症対策、SNSの利用によるトラブルや犯罪に巻き込まれる可能性、学習への取組…。子どもたちが健康で安全に、そして次のステップを目指していくためのメッセージです。

夏休みを過ごす上で、何を中心に生活していくのか?優先順位をご家庭でもよく話し合っていたきたいと思います。

本年度から2学期の開始が早くなりました。第2学期始業式は8月25日(月)です。給食はありませんので、午前中での下校となります。良いスタートを迎えることができるようよろしくお願いします。

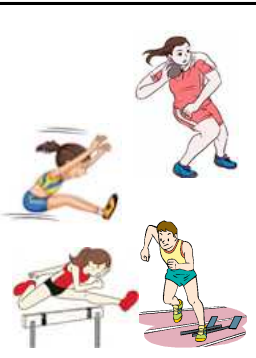
県中総体出場

三井楽中の代表として陸上競技及びバドミントン競技に出場します。また、拠点校部活動で活動している2名も福江中のチームで出場します。

計14名。全校生徒の約3分の1が出場することとなりました。それぞれがベストなパフォーマンスを発揮することを期待します。

陸上：7/26,27

共通女子	走幅跳
	砲丸投
共通男子	400m
	1500m
2年男子	4×100mR
低学年女子	80mH
低学年男子	4×100mR



バドミントン：7/28

男子個人シングルス	
-----------	--

拠点校部活動

男子バスケット	
軟式野球	

※外部(HP等)には、個人情報(氏名等)は掲載しません。

「A I と私たちの未来」

五島市立三井楽中学校3年



私の父が、チャットGPTを使い始めました。「チャットGPT」とは、今、世界中で注目を集めているA I、いわゆる人工知能です。質問すると、まるで人間が話すように回答を返してくれるという、とても便利な機能です。この機能を使って、父は、

「○○ってどういう意味？」

「肉を使った料理を教えて。」

など、たくさんの質問をしていました。それらの質問に、A Iは一つ一つ丁寧に回答します。それはまるで人間の専門家と話しているようです。

ある日、母が、

「そんなに頻繁に使っていて大丈夫？」

と言ったのです。その言葉を聞いたとき、私は、以前見た記事を思い出しました。その記事とは、中学生が読書感想文をA Iに書かせ、それを提出したというものです。私も、参考として、インターネットを使うことがあります。そこに並ぶたくさんの情報や例文を見て、「これをそのまま書き写せば楽なのに。」と、思ったこともあります。それぐらい便利で魅力的なものですが、私たちにとって、これは良いことばかりなのか、という疑問も浮かびました。

スマートフォンの音声アシスタントや自動運転の車など、私たちの周りには、たくさんのA Iが存在します。ファミリーレストランに行けば、注文はスマートフォン、料理はロボットが運んできます。これからますますA Iは増えていくでしょう。私たちが暮らす五島でも、今後、A Iは大きな存在になると思います。高齢化や人口減少、交通の不便さなど、多くの課題を抱えている私たちの故郷。A Iは、こうした課題の解決策を与えてくれるのではないのでしょうか。一人暮らしの高齢者にとっては、万一の場合の緊急連絡や健康管理に役立つかもしれません。農業や漁業、畜産業においても、天候や土の状態を分析したり、餌の時間や量の調整をしたり、より効果的な作業に繋がるかもしれません。A Iは、私たちの未来を支える、そして変える大きな力になると思います。

しかし、その一方で、今後、人間がA Iに頼りすぎてしまうのではないかという不安もあります。私が文章を書くとき、絶対にA Iに頼らないと決めている理由は、自分で自分の気持ちを伝えたいから、そして、A Iにばかり頼っていると、自分で考える力が低下してしまうのではないかと思うからです。考えてみてください。自分で考え判断すること、他人と話をすること、時間をかけて何かを学ぶことが減っていないのでしょうか。人とのつながりが薄れていないのでしょうか。もちろん、A Iは私たちの助けとなるものです。しかし、それに頼りすぎると人間が自分たちで自分たちの力を弱めたり、人間同士の助け合いや温かいつながりが少なくなったりするのではないかと思います。

医療や教育、法律に関する仕事など、人間だからこそ持つスキルや感情、社会的判断が必要な仕事は、これからも残ると言われています。A Iが得意とすることがある。人間にしかできないことがある。私たちは、これをしっかりと理解する必要があると思います。A Iをうまく活用しながら、人の力で地域や社会をつくっていく。私たちの故郷を守り、盛り上げていく。それが、A Iと私たちの未来です。

チャットGPTにこんな質問をしました。

「人間とA Iはうまくやっていけると思う？」

答えは、

「うまくやっていけるかどうかは、人間次第だと思います。」

私たちの未来は、私たちがつくっていくのです。